

# 製品安全データシート

作成日：2018/12/27 改訂日：2021/1/28

管理 No. CE0025 訂 03

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名： FDM 方式 3D プリンター用フィラメント (HI-PS) C811166

### 製造者情報：

会社名： キヤノンエコロジーインダストリー株式会社

住所： 茨城県坂東市馬立 1234 番地

担当部門：品質保証担当課

電話番号：0297-36-3101 (代表)

## 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性： 特記事項無し。

特定の危険有害性： 特記事項無し。

## 3. 組成、成分情報

単一品、混合物の区別： スチレン重合体

成分及び含有量： 96%以上 (添加剤 4%未満)

化学式：  $(C_4H_6, C_8H_8)_x$

官報公示整理番号： (6)-134 (化審法)

CAS No. : 9003-55-8

国連分類/国連番号： 国連の定義上危険物に該当しない

## 4. 応急措置

皮膚に付着した場合： 溶融樹脂が付着した場合、直ちに大量の水で冷やす。火傷を負った患部 (かさぶた) を剥いたり水以外の液体をかけたりしない。

火傷および皮膚の汚れ除去の為、早急に医師の診断を受ける。

眼に入った場合： 目をこすらせてはならない。

飲み込んだ場合： 飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤： 火災の場合は霧状水、泡、粉末、乾燥粉末、二酸化炭素を使用する。

火災時の特有危険有害性： 火災による一酸化炭素、シアン化水素、アタリロニトリル、スチレン等の有害ガスの発生が予想されるので自給式呼吸装置を着用して作業をする。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： フィラメントが床面に残るとすべる危険があるため、こまめに処理する。

環境に対する注意事項： 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

除去方法： 掃き集めて容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策： 作業場所には適切な排気、換気装置を設ける。

注意事項： 粉塵の発生を避ける。

安全取扱い注意事項： 用水路に流してはならない。

製品名： FDM 方式 3D プリンター用フィラメント(HI-PS) C811166

作成日： 2018/12/27 改訂日： 2021/1/28

---

過熱した場合（温度が上がった場合、煙や蒸気が発生することがある）  
熱分解の可能性があるのでページした溶融樹脂は水槽に入れ、直ちに  
冷却する。適切な排気設備を設ける。

#### 保管

適切な保管場所： 乾燥した冷暗所に保管。

安全な容器包装材料： 特記事項なし。

---

#### 8. 暴露防止措置及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。（労働省告示第 26 号 1995. 3. 27）

##### 保護具

吸収器用の保護具： 粉塵が発生する場合はフィルター付のマスクを着用する。

手の保護具： 適切な手袋を着用する。

目の保護具： 保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用する。

適切な衛生対策： 蒸気、粉塵の吸入を避ける。

作業後は手や顔を洗い、クリームを塗る。作業中の飲食、喫煙禁止。

---

#### 9. 物理的及び化学的性質

形状： フィラメント

色： 白色

臭い： 無臭

融点・凝固点（℃）： 95℃付近から軟化し始める。

比重： 1.03～1.10

---

#### 10. 安定性及び反応性

可燃性： あり

発火点： 490℃

引火点： 350℃

水との反応性： なし

安定性・反応性： 一般的な貯蔵、取り扱いにおいては安定で反応性はない。

危険有害な分解生成物： 燃焼により二酸化炭素、過度な加熱により稀に一酸化炭素、スチレン  
モノマーを発生する可能性がある。

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性： LD<sub>50</sub> データなし

刺激性： 樹脂が分解し刺激性の煙や蒸気が発生したとき、眼に刺激がある。

がん原性： 「がん原性の分類ができない(IARC, 3)」と分類されている。

本製品の熱分解ガスは「安定性及び反応性」の項に記載の通り有害な場合があるので、「暴露防止  
措置及び保護措置」や「廃棄上の注意」の項等に記載する適切な措置を講ずること。

---

#### 12. 環境影響情報

---

製品名： FDM 方式 3D プリンター用フィラメント(HI-PS) C811166

作成日： 2018/12/27 改訂日： 2021/1/28

---

海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

---

### 13. 廃棄上の注意

タイプ毎に分別回収し、他の樹脂と混ざらないように注意深く分離すれば、リサイクル可能。  
産業廃棄物として地域の規制、規則に従い適切に処理する。

---

### 14. 輸送上の注意

梱包装が破れないように、水漏れや乱暴な取り扱いを避ける。

---

### 15. 適用法令

該当せず

---

### 16. その他の情報

#### 略語

- ・化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- ・安衛法：労働安全衛生法
- ・GHS：Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals  
(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)
- ・ACGIH TLV：American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold  
Limit Values (米国 産業衛生専門家会議許容濃度値)
- ・IARC：International Agency for Research on Cancer (国際がん研究機関)

#### 免責事項

本 SDS は、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成した物であり、今後新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS 中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施して下さい。

本 SDS は、その記述内容を保証するものではありません。